

○例会場等変更

山形R・C 3月14日(水)～同日 P.M 5.00

○チャーターナイト御案内

犬山R・C 6月3日(日)於木曾川畔 犬山遊園地
登録 11.00～12.30 ¥ 2,500

○その他お知らせ

○第52回国際ロータリー年次大会(東京大会)の記念アルバム入荷しております。一部¥1,800です。

大会出席者は思い出のためにも是非お求め下さい

○熊平君(広島R・C会員)より抜萃のつゞりその22が送られて参りましたので配布致します。是非一読願ひ、御感想等お送りいただきたく存じます

笑顔は友情の旅券

パストガバナー

アリン.W.デーキン

……友情の橋を懸けることを続けることによつて、将来をつくるのに助力することが如何に重要なことか、各自がその職業を通じてロータリーのプログラムを増進することは平和を守る強力な武器となるのであります。このプログラムを強化するため、私は一昨年日本の各ロータリー地区の大会にマクロフリン当時の会長代理として出席しました。又昨年5月にはこれと同じような気持をもつて1万7千人のロータリアン東京大会に集いました。

旅は私の最も好きなものの一つです。しかしロータリアンとして旅することは更に旅行を意義深いものとしませす。ロータリーを通じて多くの扉が開かれ、それによつて一層多くの物事をよく見ることが出来るからであります。いままでの旅行の体験から一つだけいえることは「人類は一つなり」ということです。どこの国の人でも同じような刺激には同じような反応を示します。そして**笑顔は友情のパスポート**であり、言語と習慣の相違という障害を溶かしてしまうものだと言ふことを発見しました。

ロータリーソングの一つ、そして私がガバナーをしていた時に使つたテーマソングは「笑いましょう。すると世間も貴方に笑いかけます」というソングでした。これはささいなことです。お金もかかりません。しかし得ら

れるところのものは非常に豊かです。

ク ラ ブ 奉 仕

クラブ奉仕に対するロータリアンの責任は、哲学者ハーバード・スペンサーの言葉の反映と考えられます。即ち彼は「自分が出来ることの重要性は真に小さなものに過ぎない。しかし自分がそれをしなければならぬという重要性は無限である」と申しています。皆さんが個人として皆さんのクラブに対して持つ責務は、私の国に語り伝えられている話によつて説明されると思います。

一人の貧乏な牧師が田舎の小さな教会から説教の代理を頼まれたと申します。旧式電車の時代のこと、彼はそれに乗り、小さい息子を連れてその町にまいりました。教会に着いた牧師は控え室の喜捨箱が眼につきました。恵まれない彼自身ではありましたが、ポケットから25セントの銀貨をとり出して箱に入れたのです。彼は彼としては最大の出来栄えと思われる説教をしました。それが終ると教会の長老の一人は彼の労に感謝の言葉を述べ、彼を教会の控え室に案内し、そこにある喜捨箱の中にあるお金を代理牧師に上げるのが教会の慣わしだと説明しました。彼が箱を開けると、出て来たのは牧師が入れた25セントだけです。一寸顔をしかめた牧師はその銀貨をポケットに収め、再び電車に乗つて家路につきました。すると彼の息子が彼を見上げていきました。「お父さんもつと沢山入れたらよかつたのに。そうしたらもつと沢山もらえたのに。そうでしょう?」

○ニコニコ箱

菅原君	早退の為目下市会にて御活躍
石井君	欠席二回して
谷口君	欠席して
佐藤(昇)君	事業繁昌の為欠席して
飯白君	遅刻
中台君	お客多くて遅刻
嶺岸君	印刷業務繁忙で会報おくれ

○本日の献立

刺身、大魚、焼物、鱈とニラ、粕汁、ネギ、油揚げ、青菜漬